

西宮市議会議員

しぶや祐介

市政報告45号×2016年4月

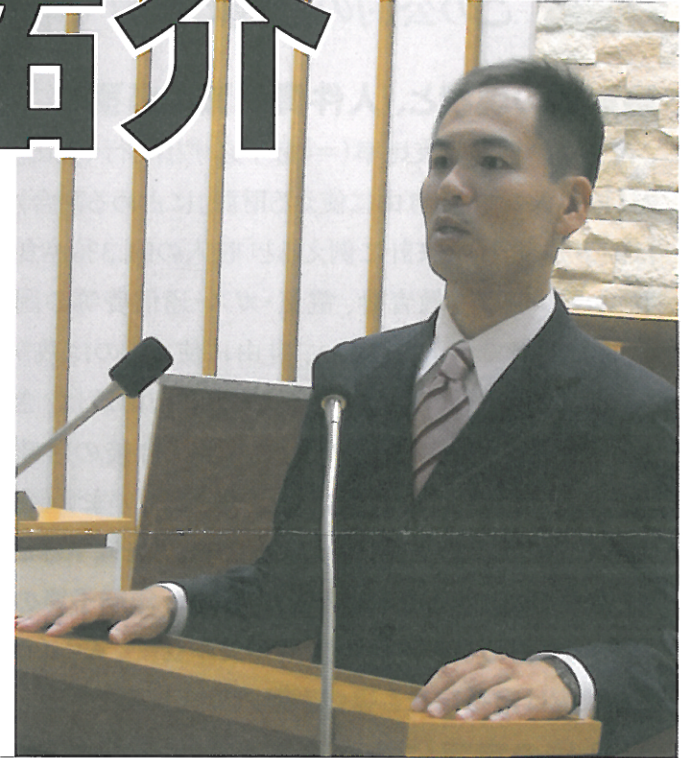
<<年4回発行>>

私たちが暮らす、
西宮の未来のために。

しぶや祐介の活動日記
<http://blog.goo.ne.jp/shibuya1973/>
しぶや祐介 検索

浜脇小・浜脇中・明星高・京都大学卒
元阪急電鉄(株)勤務 行動する政治

- より詳しい政策や、日々の活動を通じて思い、考えたこと等、様々な内容を「しぶや祐介の活動日記」で発信しています。更新頻度は週2回程度。是非ご覧下さい！
- 本紙は政務活動費で発行しています。



議会で指摘した課題に関する進捗状況

- 注射針・包帯・糸等の一括購入による購入費削減
- 訪問型病児・病後児保育に対する助成制度の導入等、私が指摘・提案した内容が、着実に市政に反映されています！

■西宮市立中央病院の診療材料費削減

西宮市立中央病院(以下、中央病院)における注射針・包帯・糸等、医療行為に必要な消耗品の購入費(以下、診療材料費)は年間・約3億円。それぞれの消耗品を扱う、複数の事業者から購入する形を取っています。一方、一部の自治体病院では診療材料費削減のため

- 複数事業者からの少量購入を1社からの一括購入に改め、物流・在庫管理も委託(箕面市立病院)
- 複数事業者から見積もりを取得した上で、物流・在庫管理業務を1社に委託(伊丹市立病院)

等の取組を行っており、**これらの病院の中には年間・数千円の利用削減に成功した事例も存在します。**

こうした状況を踏まえ、私は2015年3月議会において本市でも同様の取組を進めるよう求めました。指摘を受けて中央病院は調査・研究を進め、**2016年度以降は、診療材料を1社から一括購入するよう改めました。これによる費用削減効果は年間・約2000万円と予想されます。**引き続き、効率的な行政運営の実現に取り組んでまいります。

■訪問型病児・病後児保育への助成制度

子供が病気・ケガの時に預かってくれる病児・病後児保育の充実、子育て環境の向上という観点からきわめて重要です。一方で

- 市内全域に、くまなく施設を設置することは困難
- 施設の設置・運営に多額の費用が必要

等、様々な課題が存在するため**病児・病後児保育施設の整備は遅々として進んでいません。**

このような状況の中、病児・病後児保育への強い需要に応える形で、**民間のベビーシッター事業者等が利用者の自宅を訪問し、病気・ケガの子供をケアする訪問型病児・病後児保育が増加しています。**そこで私は2015年6月議会において、訪問型病児・病後児保育の利用に対する助成制度を導入するよう求めました。指摘を受けて、市が調査・研究を進めた結果、**2016年度から訪問型病児・病後児保育に対する助成制度が導入されることになりました。**引き続き、「子育てするなら西宮」の看板に相応しいまちの実現に取り組んでまいります。

■諸事雑感

紙面スペースの関係上ご報告できませんでしたが、3月議会では

- ①在宅医療を可能とする地域包括ケア体制の推進
- ②隣接地の取得による、学校の敷地・施設不足解消
- ③発達障害を持つ児童への支援策強化
- ④防犯カメラ設置に対する補助金制度の問題点と、直営化の必要性

等、多岐にわたる項目についても質疑を行いました。ブログではこれらの内容も含めて、市政に関する、より詳しいご報告を継続して行っています。是非ご覧下さい！

澁谷 祐介：西宮市議会議員／四期目

- 昭和48年12月26日生まれ。B型・山羊座。
- 妻・長男・次男・三男の五人家族。
- 市立浜脇小・浜脇中・私立明星高・京都大学経済学部卒業。
- 平成8年4月より平成16年8月まで阪急電鉄株式会社勤務。書店ブックファースト・アズナス(コンビニ)等、小売事業を中心にキャリアを積む。
- 平成16年11月、西宮市議会議員補欠選挙にて初当選。現在四期目。
- 好きな言葉：一利を興すは一害を除くに如かず、大道無門
- 好きな作家：司馬遼太郎、浅田次郎、黒川博行、篠田節子、山崎豊子 他多数
- 尊敬する人物：織田信長、大久保利通

しぶや祐介事務所：〒662-0927 西宮市久保町1-16-205

- 市政に関する、皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。ご連絡は、以下までお願いします。
★mail:shibuya@room.ocn.ne.jp
★tel:0798-22-7895
(恐れ入りますが、不在時は、留守番電話にメッセージをお願いします。)
- ★ブログ・facebookへのコメントにはお答えできない場合があります。回答をお求めの場合はmail・メッセージもしくはtelにてお問い合わせください。

TOPICS&CONTENTS ～今号の目次&内容～

- ◆3月議会のご報告/
予算の概要と、私の考え
- ◆「市役所改革」の推進/
市長公約の実現に向けた取組を！
- ◆修正予算が可決/
事業の取捨選択を！
- ◆育成センター/
開所時間が早まります！
- ◆進捗状況のご報告/
議会で指摘した内容の進捗状況

3月議会のご報告

2016年度予算の概要と、私の考え。

■予算概要と財政状況

3月議会に2016年度予算案が提出されました。予算案の総額は3155.8億円で前年度比・約45億円(1.4%)の増額。**予算案の規模としては阪神・淡路大震災直後の1995年度に次ぐ、過去2番目の規模となりました。**

今後、社会全体の一層の高齢化が進む中、税収の大幅な増加は期待できません。一方で、

- 高齢化の進行に伴う、行政需要の増大
- 子育て支援策拡充のために必要な支出の増大
- 道路・橋梁・水道・学校等、社会インフラの維持・保全に必要な費用の増大

等の要因による歳出の増加が見込ま

れており、今後も厳しい財政状況が続くのは確実です。実際、市は**現在、約219.2億円に上る財政基金等残高(=市の貯金にあたる)が2024年度末には底をつくおそれがあるとして**います(※)。

※ 2016年2月、西宮市政策局発行の「長期財政収支見通し」より

■行政改革の推進を！

厳しい財政状況の中、市が質の高い住民サービスを安定的に、継続して提供するためには

- 市職員の人事・給与制度改革
- 重要度に応じた事業の取捨選択

等の行政改革に、果敢な姿勢で取り組まなければなりません。こうした観点から厳しい姿勢で予算審議に取り組まれました(詳細・中面)。